

# 平成30年11月定例会提出予定案件概要

## 名古屋港管理組合

### 《日 程》

議員総会	平成30年10月26日(金)	10時予定
特別委員会	平成30年10月26日(金)	議員総会后予定
定例会	平成30年11月5日(月)	10時予定
	平成30年11月9日(金)	10時予定
	平成30年11月14日(水)	14時予定

## 平成 3 0 年 1 1 月 定 例 会 提 出 予 定 案 件

種 別	件 数	番 号	件 名
予 算	2 件	第 9 号議案	平成 30 年度名古屋港管理組合一般会計補正予算
		第 10 号議案	平成 30 年度名古屋港管理組合基金特別会計補正予算
契 約	1 件	第 11 号議案	工事請負契約の締結について（大江ふ頭岸壁改良工事（その 5））
そ の 他 案	1 件	第 12 号議案	指定管理者の指定について（新舞子ボートパーク）
報 告	2 件	第 7 号報告	専決処分の報告について（大江ふ頭岸壁改良工事（その 4））
		第 8 号報告	平成 29 年度名古屋港管理組合公営企業の資金不足比率の報告について
認 定	4 件		平成 29 年度名古屋港管理組合一般会計歳入歳出決算
			平成 29 年度名古屋港管理組合基金特別会計歳入歳出決算
			平成 29 年度名古屋港管理組合施設運営事業会計決算及び剰余金の処分
			平成 29 年度名古屋港管理組合理立事業会計決算
法人の経営状況を説明する書類の提出について (6件)			1 名古屋港鉄鋼埠頭株式会社                      4 名古屋港埠頭株式会社 2 名古屋臨海鉄道株式会社                      5 公益財団法人名古屋港緑地保全協会 3 公益財団法人名古屋みなと振興財団        6 名古屋四日市国際港湾株式会社

## 平成30年度名古屋港管理組合補正予算（案）の概要

### 1 予算編成

#### (1) 一般会計

平成30年度11月補正予算については、当初予算成立後に新たに生じた事項で、歳入は、前年度繰越金のほか、行政財産特別使用料、指定管理者からの納付金等を増額し、基金特別会計からの繰入金の減額を計上した。

歳出は、平成30年9月4日に名古屋港に接近した台風21号による被害復旧費、防災対策として中川口通船門耐震補強工事等、安全対策として中川運河護岸及び金城ふ頭岸壁の補修工事等、緊急的に必要な工事費及び繰上償還に伴う公債費の増額、風力発電所2号機撤去取下げ等の減額を計上した。また、平成29年度指定管理者からの納付金等を基金に積立てるため、基金特別会計への繰出金を計上した。

#### (2) 基金特別会計

歳入は、一般会計からの繰入金等の増額及び積戻金の減額、歳出は、歳入予算補正に対応した各基金への積立金の増額及び一般会計への繰出金の減額を計上した。

### 2 予算規模

区 分	補 正 前 の 額	補 正 額	補 正 後 の 額
	千円	千円	千円
一 般 会 計	27,060,000	737,000	27,797,000
基 金 特 別 会 計	403,300	136,200	539,500
施 設 運 営 事 業 会 計	7,069,000	—	7,069,000
埋 立 事 業 会 計	3,810,000	—	3,810,000
合 計	38,342,300	873,200	39,215,500

(注) 施設運営事業会計及び埋立事業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額である。

## 3 予算概要

## (1) 一般会計補正予算

	千円
台風21号による被害復旧費 ○新舞子マリパーク補修等 〔財源：繰越金〕	85,600
防災対策の推進に必要な単独工事費の増額 ○中川口通船門耐震補強 〔財源：繰越金〕	19,000
緊急的に必要な工事費等の増額 ○中川運河護岸補修、金城ふ頭岸壁補修等 〔財源：使用料及び手数料、繰越金、諸収入〕	422,800
指定管理者納付金等の基金積立 ○水族館振興基金繰出金、海事文化振興基金繰出金 〔財源：繰越金、諸収入〕	219,388
風力発電所2号機撤去の取下げ等による減額 〔財源：繰入金〕 〔 債務負担行為補正 補修機器の製作 平成30～31年度 30,000千円 〕	△ 85,000
繰上償還に伴う公債費の増額 〔財源：繰越金〕	75,212
<b>一般会計 補正額</b>	<b>737,000</b>

倒木 3ヶ所  
2747場 25本  
緑地 49本  
中川口 6本  
-----  
80本

## (2) 基金特別会計補正予算

	千円
名古屋港水族館及び名古屋港ポートビル運営収支差額等の積立金の増額	221,200
風力発電所2号機撤去の取下げ等による繰出金の減額	△ 85,000
<b>基金特別会計 補正額</b>	<b>136,200</b>

## 平成30年11月定例会提出予定案件（予算以外）

### 1 契約

工事請負契約の締結（大江ふ頭岸壁改良工事（その5））（契約金額：885,091,536円、相手方：五洋・徳倉・小島特定建設工事共同企業体）

### 2 その他議案

指定管理者の指定

施設名称	指定管理者となる団体（候補者）	指定の期間	応募団体数
新舞子ポートパーク	新舞子ポートパーク運営共同企業体 構成員：㈱ダイイチ・ヤマハ発動機㈱	平成31年4月1日から 平成36年3月31日まで （5年間）	3団体

現行と同じ

### 3 報告

#### (1) 契約の変更（大江ふ頭岸壁改良工事（その4））

労務単価等の上昇によるインフレスライドや、工事施工に伴う数量精査等により契約金額の増額変更（987,221,520円→993,701,520円）

#### (2) 平成29年度公営企業（施設運営事業会計・埋立事業会計）の資金不足比率の報告（資金不足額なし）

### 4 認定

- ・平成29年度名古屋港管理組合一般会計歳入歳出決算
- ・平成29年度名古屋港管理組合基金特別会計歳入歳出決算
- ・平成29年度名古屋港管理組合施設運営事業会計決算及び剰余金の処分
- ・平成29年度名古屋港管理組合埋立事業会計決算

### 5 議員総会その他説明事項

#### (1) 名古屋港審議会（平成31年1月開催予定）提出予定案件

※ 港湾環境整備負担金対象工事の指定

負担金徴収予定額 8,089万円（1㎡当たりの負担額 2.90円）

※ 敷地面積1万㎡以上の事業者に環境整備に係る費用の一部の負担を求める制度

## (2) 国際競争力の強化に向けた取組について

## ア 本組合の取組

- ・国が取りまとめた「港湾の中長期政策『PORT 2030』」を踏まえ、コンテナ情報の一元管理システムの充実・高度化や、ターミナルの生産性向上について関係者と議論を深めながら、港湾のスマート化を推進するよう国に働きかけていく。
- ・LNGバンカリング拠点の形成を目指し、更なる物流の利便性向上・競争力強化を図る。

## イ コンテナ取扱機能の強化

伊勢湾（名古屋港・四日市港）の港湾運営会社である名古屋四日市国際港湾株式会社において、無利子貸付金を活用して整備した大型ガントリークレーン2基が既に供用開始しており、引き続きガントリークレーンのリプレースを進めていく。

## ウ 完成自動車取扱機能の強化

金城ふ頭における新規岸壁の整備及び保管用地の造成について、平成30年12月の埋立免許取得を目途に手続き等を進めている。

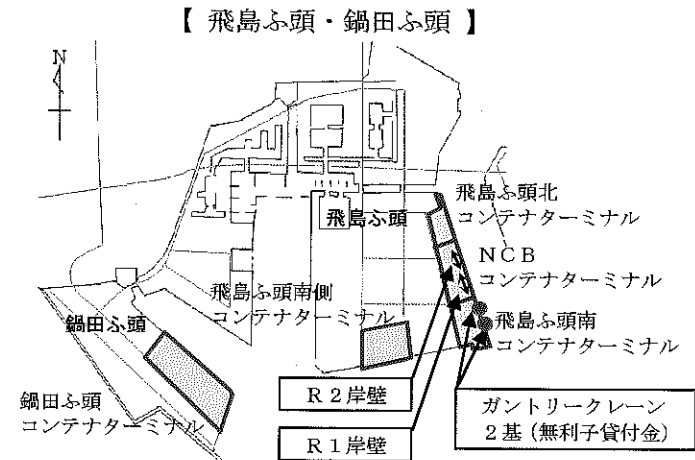
## エ 集貨拡大、産業立地の促進

- ・船社、荷主、商社等を対象とした利用促進懇談会を名古屋、浜松において開催し、今後は、東京においても開催する予定である。
- ・平成30年10月16日に貿易促進と港湾ビジネスの拡大を図るため、「HAROPA-ル・アーヴル港」と新たなパートナーシップ港提携を行った。
- ・弥富ふ頭第1貯木場南埋立地において平成30年7月17日に埋立工事が竣功し、稲永ふ頭埋立地においても10月25日に埋立工事が竣功する予定であり、順次、基盤整備を進めていく。
- ・弥富ふ頭第1貯木場北側において平成30年9月28日に埋立免許を取得したところであり、引き続き、早期完成に向けて取り組んでいく。

## (3) 新たな土砂処分場の確保への取組について

## ア 現況

- ・名古屋港内は既に高度利用されており、大規模な土砂処分場を計画することが困難な状況であることから、国は、新たな土砂処分場について、総合的な視点から、中部国際空港沖を候補地として選定した。
- ・現在、環境影響評価の準備書の手続きを進めている。



#### イ 今後の取組

本組合は、新たな土砂処分場の早期確保を目指し、名古屋港港湾計画の位置付けや必要な事業費の確保など、国や愛知県及び名古屋市などと連携し、漁業関係者の理解を得ながら鋭意取り組んでいく。

#### (4) 名古屋港の防災対策について

##### ア ハード対策

- ・ 躯体の耐震補強工事を実施している堀川口防潮水門について、2号通航水門の耐震補強工事に着手した。
- ・ 金城ふ頭の新たな耐震強化岸壁については、平成30年12月の埋立免許取得を目途に手続き等を進め、引き続き早期完成に向けて取り組んでいく。

##### イ ソフト対策

- ・ 名古屋港BCP協議会を平成30年9月に開催し、名古屋港BCPに基づく行動計画の見直しや情報伝達方法の具体化など、平成30年度に協働して検討する事項を確認した。
- ・ 伊勢湾BCP協議会においても作業部会が平成30年9月に開催され、資機材調達などの手順の見直しや新たに被害状況調査などの手順について検討していくこととした。

##### ウ 台風による影響について

- ・ 台風21号により、西部木材港における係船浮標2基の係留チェーン切断による漂流、新舞子マリナーパークにおける人工海浜の砂の流出などの被害が発生したものの、港湾施設などへの大きな被害はなかった。
- ・ 台風24号についても、港湾施設などへの大きな被害はなかった。
- ・ 今後は、台風21号により、大きな被害があった大阪港、神戸港などの状況を把握しつつ、必要な対策を検討していく。

#### (5) ヒアリ等の対策について

- ・ 名古屋港では、これまでにコンテナターミナル等においてヒアリ（8事例）及びアカカミアリ（3事例）が確認されている。
- ・ ヒアリの定着防止を図るために国土交通省が創設した補助制度を活用し、コンテナヤードの舗装改良を実施するなど、引き続き、関係機関、港湾関係者と連携して水際での防除に取り組んでいく。

## 6 ガーデンふ頭にぎわい創出特別委員会説明事項

### (1) ガーデンふ頭の状況

#### ア 名古屋港水族館

- ・平成30年度上半期の入館者数は、約130万人（歴代3位）となった。
- ・今後も、来春の「ウミガメ回遊水槽」のリニューアルとともに、研究機関とシャチの性成熟過程における繁殖研究を進めていく。
- ・平成30年度に「名古屋港水族館繁殖環境のあり方検討調査」を進めており、飼育鯨類別（イルカ、シャチ、ベルーガ）の課題を整理し、有識者の意見を聞きながら、将来的な繁殖・飼育の方向性等について検討している。

#### イ イベントの開催

- ・7月に「海の日名古屋みなと祭」を開催し、今後は民間団体による「名港水上芸術花火2018」（10月13日）、「ISOGAI花火劇場 in 名古屋港～次世代を担う子供たちに美しい花火を～」(12月24日)が開催される予定である。
- ・11月に練習帆船「海王丸」、練習汽船「大成丸」、平成31年3月に練習汽船「銀河丸」の入港及び船内一般公開を予定している。

#### ウ 冬のイベント

今年で4回目となる冬のイベントについて、イルミネーションによる「NAGOYA PORT WINTER ILLUMINATION ～笑顔が弾む光の港～」の開催に向けた準備を進めている。

#### エ クルーズ船の入港状況

平成30年は40隻（9月末日現在）の入港が予定されており、そのうちガーデンふ頭については34隻となっている。

#### オ クルーズ船誘致の取組

- ・ハード対応として、ガーデンふ頭3号岸壁の係船杭の設置による延長工事及び屋根付通路の設計を行っている。
- ・ソフト対応としてはクルーズ船社等へのセールスや寄港時の歓送迎行事、観光案内等に加え、7月には愛知県及び名古屋市と連携して、上海に拠点を置くクルーズ船社等を訪問し、今後、訪問先船社等を対象とした招請事業を予定している。

### (2) ガーデンふ頭再開発

- ・マーケットサウンディングの結果を踏まえ、開発エリアの確保に向けた港湾業務機能の移転・撤去など既存施設の取扱いなどの検討を、有識者で構成されるアドバイザーチームの助言を得ながら行っている。
- ・引き続き、民間事業者からの意見聴取やガーデンふ頭に携わる関係者との調整を行うとともに、更なるイベントの推進や再開発するまでの間、ひがし広場の暫定利用を図るなど、再開発の実現に向け取り組んでいく。



(参考)

